

2 項目別評価 総括表

評価項目		公立大学法人自己評価								評価委員会評価	
		計画達成の状況								項目別評価	評価における特記事項
第1	大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置	A	126	B	114	C	11	D	2	II	
		A	61	B	77	C	7	D	2		
		(会津大学) おおむね計画どおり実施できたが、一部の項目については十分な取組にまでは至らなかったと判断する。									
		A	65	B	37	C	4	D	0		
1	教育に関する目標を達成するための措置	A	96	B	75	C	4	D	0	II	
		A	50	B	43	C	3	D	0		
		(会津大学) おおむね計画どおり達成できたと判断する。									
		A	46	B	32	C	1	D	0		
(1)	教育の成果に関する目標を達成するための措置	A	11	B	6	C	1	D	0	II	(会津大学) コンピュータ工学やコンピュータ社会の進歩に適合する教育・研究を行うため、「コンピュータソフトウェア学科」と「コンピュータハードウェア学科」を「コンピュータ理工学科」の1学科に再編するとともに、学部カリキュラムの見直しとその円滑な運用、学部教育と大学院教育の継続性や一貫性に留意した「学部・博士5年一貫教育プログラム」の運用、学生の英語能力向上の取組について評価できる。 一方、大学院課程への進学率の向上が求められる。
		A	7	B	6	C	1	D	0		
		(会津大学) 学士課程の学科、大学院課程の教育研究領域の再構築、学部専門教育と大学院教育との一貫性に留意した教育などについて、おおむね計画どおり達成できたと判断する。									
		A	4	B	0	C	0	D	0		
(2)	教育内容等に関する目標を達成するための措置	A	51	B	28	C	2	D	0	II	(会津大学短期大学部) 模範的な在学生を出身高校に派遣して、短期大学部の情報提供を行う「ホームcoming・レポーター制度」を開始するなど、受験生確保の取組について評価できる。 また、資格取得希望者の資格取得率に関しては、食物栄養学科の栄養士免許資格、社会福祉学科の保育士資格及び社会福祉士受験資格の全てにおいて、毎年、中期目標の数値目標値である100%またはそれに近い値となったことについて評価できる。
		A	30	B	17	C	2	D	0		
		(会津大学) 学生の受入方針を明示した学生募集や学部・大学院の入試、学生の確保対策、新カリキュラム導入、実践的な教育、学生の成績評価など、おおむね計画どおり達成できたと判断する。									
		A	21	B	11	C	0	D	0		
		(会津大学短期大学部) 広報活動の充実、入学試験制度の検証、少人数教育を重視した教育課程の充実、情報リテラシー教育の充実、シラバスの改善、オフィスアワー等による個別指導の充実などにより、教育内容等に関する目標について、おおむね計画どおり達成できたと判断する。									

2 項目別評価 総括表

評価項目		公立大学法人自己評価								評価委員会評価	
		計画達成の状況								項目別評価	評価における特記事項
(3)	教育の実施体制等に関する目標を達成するための措置	A	12	B	17	C	1	D	0	II	(会津大学) FD (Faculty Development : 教員能力開発) 推進委員会の決定に従い、学生による授業評価(アンケート)を各学期の中間、期末の2回(計4回)実施し、中間評価の結果をその後の授業もしくは期末評価に反映できるように配慮したことは評価できる。 (会津大学短期大学部) 学内Webポータルサイト「Pota.」を導入し、学生、教員、事務局間の円滑な情報共有を支援する仕組みを構築したことについて評価できる。 また、「学生による授業評価」等のアンケート調査を行い、その結果を学内ホームページへ掲示するとともに、教員からの回答も開示するなど、教育の質の向上を図ったことについて評価できる。
		A	4	B	8	C	0	D	0		
(4)	学生への支援に関する目標を達成するための措置	A	22	B	24	C	0	D	0	II	(会津大学) 修学支援室を開設し常駐の修学支援員等を配置するとともに、TA (Teaching Assistant) も活用し、修学状況に不安や悩みを持つ学生の相談に応じたり、補習の場を提供したりするなど、学生支援を行ったことについて評価できる。 また、厳しい就職環境を考慮して、就職支援室を開設し、学生への就職支援体制を強化したことについて評価できる。 (会津大学短期大学部) 学生相談員(各学科)やカウンセラー(四大から週1回派遣)の配置、オフィスアワー制度の創設と弾力的な時間外対応等、学生相談体制の充実を図ったことについて評価できる。
		A	9	B	12	C	0	D	0		
2	研究に関する目標を達成するための措置	A	15	B	24	C	6	D	1	II	
		A	6	B	20	C	4	D	1		
		(会津大学) おおむね計画どおり実施しているが、一部の項目については十分な取組にまでは至らなかったと判断する。									
		A	9	B	4	C	2	D	0		
		(会津大学短期大学部) おおむね計画どおり達成できたと判断する。									

2 項目別評価 総括表

評価項目		公立大学法人自己評価								評価委員会評価	
		計画達成の状況								項目別評価	評価における特記事項
(1)	研究水準及び研究の成果等に関する目標を達成するための措置	A	9	B	9	C	1	D	0	II	(会津大学) 「先端情報科学研究センター(CAIST)」を開設し、「宇宙情報科学」、「医学・医療」、「環境情報科学」の3つの重点分野による研究チームを設置して、研究の拠点化を図るとともに、研究活動を始めたことについて評価できる。 また、宇宙情報科学クラスターにおいて、小惑星探査機「はやぶさ」における貢献や、国立環境研究所、独立行政法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)等と共同で行ってきた「月に関する研究成果」が英科学誌「ネイチャー ジオサイエンス」(平成23年7月、オンライン版)に掲載されるなど、成果を上げたことについて評価できる。 (会津大学短期大学部) 地域活性化センターを開設し、地域の産学民官の連携を図り、地域課題の解決に向けて実践的な教育研究を行ってきたことについて評価できる。
		A	4	B	7	C	1	D	0		
		(会津大学) 先端情報科学センターの開所による若手研究者の重点的な招へいや公開講座、ITセミナー、フォーラムの開催、高い評価を受けた研究成果に対する顕彰など、おおむね計画どおり達成できたと判断する。									
		A	5	B	2	C	0	D	0		
(2)	研究実施体制等の整備に関する目標を達成するための措置	A	6	B	15	C	5	D	1	II	(会津大学) 会津地域の企業間連携組織である会津産業ネットワークフォーラム(ANF)との意見交換の場「モーニングサロン」や会津大学発ベンチャー企業との意見交換の場「会津大学“雲”サロン」を実施し、産学連携支援機能の拡充に努めたことについて評価できる。
		A	2	B	13	C	3	D	1		
		(会津大学) 先端情報科学研究センターの運営や研究費の上乗せ措置などについては、おおむね計画どおり実施したが、研究経過や研究成果の評価については引き続き体制の整備が必要であると判断する。									
		A	4	B	2	C	2	D	0		
3	地域貢献に関する目標を達成するための措置	A	12	B	13	C	1	D	1	II	
		A	3	B	12	C	0	D	1		
		(会津大学) おおむね計画どおり実施したが、一部の項目については、十分な取組にまでは至らなかったと判断する。									
		A	9	B	1	C	1	D	0		

2 項目別評価 総括表

評価項目		公立大学法人自己評価								評価委員会評価	
		計画達成の状況								項目別評価	評価における特記事項
(1)	教育研究における地域社会や県政との連携・協力に関する具体的方策	A	10	B	7	C	1	D	1	II	(会津大学) 県内外の高等学校への出前講義・教員派遣公開講座の推進や高大連携協定に基づく連携、コンピュータサイエンスサマーキャンプ、パソコン甲子園の実施などは、おおむね計画どおり実施したが、県内中学、高等学校の現職教員の受入れによる長期研修については、十分な取組にまでは至らなかったと判断する。
		A	3	B	7	C	0	D	1		
		A	7	B	0	C	1	D	0		
		(会津大学短期大学部) 地域活性化センターを中心にした地域社会や県の政策形成・各種施策との連携・協力の推進など、計画を上回る実績をあげたと判断する。									
(2)	地域産業の振興に関する具体的方策	A	2	B	3	C	0	D	0	II	(会津大学) 産学官連携の推進や各種セミナー等の実施など、おおむね計画どおり達成できたと判断する。
		A	0	B	3	C	0	D	0		
		A	2	B	0	C	0	D	0		
		(会津大学短期大学部) 地域活性化センターを開設して地域の産学民官と協働・連携を推進した。計画を上回る実績を上げたと判断する。									
(3)	地域貢献の評価に関する具体的方策	A	0	B	3	C	0	D	0	II	(会津大学) 地域貢献となる事業項目の評価など、おおむね計画どおり達成できたと判断する。
		A	0	B	2	C	0	D	0		
		A	0	B	1	C	0	D	0		
		(会津大学短期大学部) 地域貢献の評価について、おおむね計画どおり達成できたと判断する。									
4	国際交流に関する目標を達成するための措置	A	3	B	2	C	0	D	0	I	(会津大学) 計画を上回る実績を上げたと判断する。
		A	2	B	2	C	0	D	0		
		A	1	B	0	C	0	D	0		
		(会津大学短期大学部) 計画を上回る実績を上げたと判断する。									

2 項目別評価 総括表

評価項目		公立大学法人自己評価								評価委員会評価	
		計画達成の状況								項目別評価	評価における特記事項
(1)	国際交流の推進に関する具体的方策	A	3	B	2	C	0	D	0	I	(会津大学) 国際戦略本部において国際交流協定の締結を進め、中期計画期間の数値目標（締結校15校）に対し、55校と協定を締結する（平成23年度末まで）とともに、デュアルディグリープログラム（提携大学で取得した単位の相互認定により、2つの大学の学位を取得できる制度）に関する覚書を締結して、協定締結先の学生を受け入れたことについて評価できる。 (会津大学短期大学部) 四大（会津大学）で行われた国際交流事業への学生の参加者募集や、国際交流に関する講演会の開催について評価できる。
		A	2	B	2	C	0	D	0		
		(会津大学) 国際戦略本部による全学的な国際交流活動や国際交流協定の締結など、計画を上回る実績を上げたと判断する。									
		A	1	B	0	C	0	D	0		
第2	業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置	A	10	B	30	C	3	D	0	II	
		A	7	B	26	C	2	D	0		
		(会津大学) おおむね計画どおり達成できたと判断する。									
		A	3	B	4	C	1	D	0		
1	運営体制の改善に関する目標を達成するための措置	A	2	B	7	C	0	D	0	II	
		おおむね計画どおり達成できたと判断する。 (短期大学部 A:1 B:2 C:0 D:0)									
(1)	効果的な組織運営に関する具体的方策	A	1	B	4	C	0	D	0	II	(会津大学) 各教員の研究費の年度末残高相当額を、翌年度の研究費配分額に加算する実質的な繰越制度を創設するなど、研究費の計画的かつ効率的な執行を図ったことについて評価できる。
		大学の教育研究業務を円滑に実施するための役員会、経営審議会、教育研究審議会などの体制の整備や、教育・研究費の執行等の効率化のための業務手順やシステムの検討、教授会・研究科委員会の運営の確立など、おおむね計画どおり達成できたと判断する。 (短期大学部 A:1 B:1 C:0 D:0)									
(2)	戦略的な学内資源配分の実現等に関する具体的方策	A	1	B	3	C	0	D	0	II	(会津大学) 県公立大学法人評価委員会の評価結果等を踏まえ、平成21年度に事務局を3課1室から2課1室へ再編し、事務の効率化・合理化を推進するとともに、評価室、監査室及び研究費等不正防止計画推進室を活用し、自己点検評価、年度計画の進行管理、内部監査の実施等により、理事及び監事の業務を支援したことについて評価できる。
		事務局等組織の再編や各種委員会の運営及び学外委員の登用など、おおむね計画どおり達成できたと判断する。 (短期大学部 A:0 B:1 C:0 D:0)									
2	教育研究組織の見直しに関する目標を達成するための措置	A	1	B	2	C	0	D	0	II	
		A	0	B	2	C	0	D	0		
		(会津大学) おおむね計画どおり達成したと判断する。									
		A	1	B	0	C	0	D	0		
(会津大学短期大学部) 計画を上回る実績を上げたと判断する。											

2 項目別評価 総括表

評価項目		公立大学法人自己評価								評価委員会評価	
		計画達成の状況								項目別評価	評価における特記事項
(1)	教育研究組織の柔軟かつ機動的な編成・見直し等に関する具体的方策	A	1	B	2	C	0	D	0	II	
		A	0	B	2	C	0	D	0		
		(会津大学) 組織の見直しなど、おおむね計画どおり達成したと判断する。									
		A	1	B	0	C	0	D	0		
3	人事の適正化に関する目標を達成するための措置	A	4	B	10	C	3	D	0	II	
		A	2	B	6	C	2	D	0		
		(会津大学) おおむね計画どおり達成できたと判断する。									
		A	2	B	4	C	1	D	0		
(1)	人材の確保に関する具体的方策	A	3	B	6	C	1	D	0	II	(会津大学) 教員採用に当たっては、国籍等を問わない公募制を原則として優れた教員の確保を図り、先端的な分野等については任期制の採用とするなど、状況に応じて多様な教員任用を行ったことについて評価できる。 また、教員の教育・研究への意欲を喚起できるように、在籍6年以上の准教授を対象とした学内昇任基準に基づく学内昇任の他、著しい研究業績等を有する場合に在職期間に関係なく昇任申請ができる制度を導入し、該当者を学内昇任した取組について評価できる。
		A	2	B	4	C	0	D	0		
		(会津大学) 公募制による教員の採用や多様な任用制度の導入、内部昇任制度など、おおむね計画どおり達成できたと判断する。									
		A	1	B	2	C	1	D	0		
(2)	非公務員型を生かした柔軟かつ多様な人事システムの構築に関する具体的方策	A	1	B	4	C	2	D	0	II	(会津大学短期大学部) 男女共同参画社会の実現に向けて、優秀な女性教員の採用による女性比率の向上に努め、女性教員の割合が約34%となった(平成23年度) ことについて評価できる。
		A	0	B	2	C	2	D	0		
		(会津大学) テニユア・トラック制の導入や内部昇任制度の導入など、おおむね計画どおり達成できたが、教職員の人事交流やサバティカル制度などの大学独自の制度の導入については、引き続き取組が必要であると判断する。									
		A	1	B	2	C	0	D	0		
4	事務等の効率化・合理化に関する目標を達成するための措置	A	3	B	11	C	0	D	0	II	
		おおむね計画どおり達成できたと判断する。 (短期大学部 A:2 B:2 C:0 D:0)									

2 項目別評価 総括表

評価項目		公立大学法人自己評価								評価委員会評価	
		計画達成の状況								項目別評価	評価における特記事項
(1)	事務組織の機能・編成の見直しに関する具体的方策	A	1	B	3	C	0	D	0	II	
	法人職員の段階的、計画的な採用や、資質向上のため他大学と共同での専門研修の実施など、おおむね計画どおり達成できたと判断する。 (短期大学部 A:1 B:0 C:0 D:0)										
(2)	事務処理の効率化・合理化に関する具体的方策	A	2	B	8	C	0	D	0	II	(共通) 昼休み時間の窓口業務対応やペーパーレス化について検討し、学生サービスの向上や業務効率化の積極的な取組について評価できる。
	学務システムの充実や窓口業務のサービス向上、会議や委員会の整理・統廃合など、おおむね計画どおり達成できたと判断する。 (短期大学部 A:1 B:2 C:0 D:0)										
第3	財務内容の改善に関する目標を達成するためのとるべき措置	A	4	B	17	C	3	D	1	II	
1	外部研究資金その他の自己収入の増加に関する目標を達成するための措置	A	3	B	9	C	3	D	1	II	(共通) 教員を対象とした科学研究費補助金や競争的公募型外部資金(補助金制度)等に関する情報提供、外部資金への申請教員に対する随時助言等を行い、短期大学部では外部資金の申請件数が年間21件(平成22年度、平成23年度ともに)となり、中期目標期間の数値目標(15件以上)を上回ったことについて評価できる。 また、寄附金取扱規程を整備し、適切な運用に努めたことについて評価できる。
	大学施設の利用による収入増については、おおむね計画どおり実施したが、得られた外部資金の間接経費の活用については、十分な取組にまでは至らなかった。 (短期大学部 A:2 B:3 C:2 D:0)										
2	経費の節減に関する目標を達成するための措置	A	0	B	4	C	0	D	0	II	
3	資産の運用管理の改善に関する目標を達成するための措置	A	1	B	4	C	0	D	0	II	(会津大学) 大学ホームページにより、大学施設の利用制度の周知を進めた結果、大学施設(講堂や講義棟)の年間利用件数が増加傾向になってきたことについて評価できる。
	施設の利用増加や施設の計画的な維持管理について、おおむね計画どおり達成できたと判断する。 (短期大学部 A:0 B:2 C:0 D:0)										
第4	教育及び研究並びに組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価に関する目標を達成するためのとるべき措置	A	3	B	12	C	3	D	0	II	
		A	0	B	8	C	2	D	0		
		(会津大学) おおむね計画どおり達成できたと判断する。									
		A	3	B	4	C	1	D	0		
(会津大学短期大学部) おおむね計画どおり達成できたと判断する。											

2 項目別評価 総括表

評価項目		公立大学法人自己評価							評価委員会評価		
		計画達成の状況							項目別評価	評価における特記事項	
1	自己点検・評価の実施に関する具体的方策	A	1	B	6	C	2	D	0	II	(共通) 自己点検・評価組織(四大:評価室、短大:評価委員会)を設置し、自己評価や進行管理に取り組んだことは評価できる。 一方、教員評価については、今後とも、社会の変化に応じたよりよい評価の在り方についての検討を期待したい。
		A	0	B	4	C	1	D	0		
		(会津大学) 評価室を活用した法人評価の枠組の中での自己点検・評価や外部監査など、おおむね計画どおり達成できたと判断する。									
		A	1	B	2	C	1	D	0		
2	第三者評価の実施に関する具体的方策	A	1	B	3	C	0	D	0	(会津大学) 独立行政法人大学評価・学位授与機構の機関別認証評価を受審し、同機構が定める大学評価基準を満たしているとの評価を得たことについて評価できる。 (会津大学短期大学部) 独立行政法人大学評価・学位授与機構の機関別認証評価を受審し、同機構が定める短期大学評価基準を満たしているとの評価を得たこと、さらに次回の受審準備を始めたことについて評価できる。	
		A	0	B	2	C	0	D	0		
		(会津大学) 機関別認証評価の受審及び認定など、おおむね計画どおり達成できたと判断する。									
		A	1	B	1	C	0	D	0		
3	評価結果の活用に関する具体的方策	A	1	B	3	C	1	D	0	II	(会津大学) FD(教員能力開発)推進委員会を設置し、委員会を中心にFDの進め方等について検討を行い、FD通信の発行、シラバスや授業評価の改善、FD講演会開催等、積極的にFD活動に取り組んだことについて評価できる。
		A	0	B	2	C	1	D	0		
		(会津大学) 教育技術向上のための活動や評価結果の公表及び活用について、おおむね計画どおり達成できたと判断する。									
		A	1	B	1	C	0	D	0		
第5	教育及び研究並びに組織及び運営の状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための措置	A	4	B	4	C	0	D	0	I	
		A	1	B	3	C	0	D	0		
		(会津大学) おおむね計画どおり達成できたと判断する。									
		A	3	B	1	C	0	D	0		
		(会津大学短期大学部) 計画を上回る実績を上げたと判断する。									

2 項目別評価 総括表

評価項目		公立大学法人自己評価								評価委員会評価	
		計画達成の状況								項目別評価	評価における特記事項
1	教育及び研究並びに組織及び運営の状況に係る情報公開・提供、広報に関する具体的方策	A	4	B	4	C	0	D	0	I	(会津大学) ホームページを全体的に更新し、受験生対象のコンテンツの充実、ツイッターや「You Tube」への対応を行うとともに、大学案内パンフレットの内容拡充や教育研究活動をPRするための記者会見の開催等、積極的な広報を行ったことについて評価できる。 (会津大学短期大学部) 研究年報をCD-ROM化して関係機関に配布するとともに、その全文をホームページで公表し、国立情報学研究所のCiNii（論文情報ナビゲータ）にも公開したことについて評価できる。
		A	1	B	3	C	0	D	0		
		(会津大学) ホームページの充実やオープンキャンパスの開催について、おおむね計画どおり達成できたと判断する。									
		A	3	B	1	C	0	D	0		
第6	その他業務運営に関する重要目標を達成するためにとるべき措置	A	1	B	15	C	2	D	0	II	
		おおむね計画どおり達成できたと判断する。 (短期大学部 A:1 B:7 C:1 D:0)									
1	施設設備の整備・活用等に関する目標を達成するための具体的方策	A	1	B	7	C	0	D	0	II	(会津大学) 修学支援宿泊施設「創明寮」(学生寮)について、計画を1年前倒しして整備を進めるとともに、規程の整備、寮費の設定、備品の整備を行い、平成23年5月に供用開始した。また入寮学生を指導する「創明寮レジデントアシスタント(SRA)8名を配置し、寮の円滑な運営を図たことについて評価できる。
		学生寮の整備やユニバーサルデザインに配慮した施設の改修など、おおむね計画どおり達成できたと判断する。 (短期大学部 A:0 B:1 C:0 D:0)									
2	健康管理・安全管理に関する目標を達成するための措置	A	0	B	8	C	2	D	0	II	(会津大学) 情報センターを中心に、情報セキュリティ体制の維持に努めるとともに、ソフトウェアのインストールに関する詳細な調査を行い、OSアップデートにかかる時間と費用を削減したことについて評価できる。 一方、教職員の健康管理のため、教員の健康診断受診率の一層の向上が求められる。 (会津大学短期大学部) 情報処理センター等担当者技術研究会への参加やセキュリティシステムに関する調査の実施等を通して、教員の情報セキュリティに関する対応力の向上に努めたことについて評価できる。
		学生、教職員の定期健康診断や健康管理、セキュリティ体制の維持、災害発生時の体制整備など、おおむね計画どおり達成できたと判断する。 (短期大学部 A:1 B:6 C:1 D:0)									
第1～第6 (計379項目)		A	149	B	203	C	24	D	3	II	

注1:自己評価の考え方

- A・・・中期計画を上回って実施している
- B・・・中期計画を予定どおりに実施している(達成度がおおむね90%以上)
- C・・・中期計画を下回って実施している(達成度がおおむね60%以上90%未満)
- D・・・中期計画を大幅に下回っている、または実施していない(達成度が60%未満)

注2:評価委員会の評価の考え方

- I・・・中期目標を十分に実施できている
- II・・・中期目標をおおむね実施できている
- III・・・中期目標を十分に実施できていない
- IV・・・中期目標を実施できていない